

人のうごき

(令和3年11月中の掲載希望届出分)

おたんじょう

横山 ^{おとは}音羽 ^{ちゃん} (駿太・奈々子) 寿町

ごけっこん

小笠原 嵐 ^{さん} 石川 真子 ^{さん} 幸町

おくやみ

菊地 マサヨ ^{さん} 99歳 栄町

人口と世帯数(11月末)

人口	6,545人	(-4)
男	3,141人	(-1)
女	3,404人	(-3)
世帯数	3,480世帯	(-2)

()は前月比

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日も対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。(☎ 68-7003 ※休日可)

編集後記

広報担当になり2年目となりますが、未だ「羽幌神社祭」や「はぼろ甘エビまつり」等、大きなイベント・行事で写真を撮る機会がありません。今年も新型コロナウイルス感染症に翻弄されましたね。

来年こそは、その写真が撮れることを切に願います。(N)



Dr. 佐々尾の健康カルテ

いよいよ今年もあと1ヶ月。昨年に引き続き新型コロナウイルスによって、なにかと制約の多い1年になってしまいました。中国での感染からおおよそ2年が経過し、日本では夏からの第5波が収束し、10月からはおだやかな日が続いており、この原稿を書いている時点でも、北海道は1日10名前後の感染者で推移しています。少しずつ平和な日常を取り戻しつつあります。ただ、世界をみまると、日本よりもワクチン接種の開始が早かった国々が、感染者の急増で医療逼迫が再び見られており、これと同様のことは日本でも起こる可能性はあります。日本のデータをみると、感染者数は激減していますが、9月以降の感染者における高齢者の割合が増加しており、ワクチン接種から時間が経過した方の感染も見られるようになっています。

羽幌町では新型コロナワクチンは対象者のうち希望される方々についてはほぼ終了し、非常に多くの方に接種していただきました。国では3回目の接種を、2回目の接種から8ヶ月経過後に実施する方針を示しており、医療従事者はこの12月から1月にかけて3回目の接種を行う予定です。それに引き続き、順次2回目から8ヶ月経過された方への接種となると予想されます。

3回目のワクチン接種がなぜ必要かということですが、ワクチンの感染予防効果は、接種1ヶ月後の88%から、約半年で47%まで低下するとされています。入院予防効果や重症化予防効果は2回目接種から半年までは維持されているものの、高齢者では重症化予防効果は徐々に減少するとされています。先に追加接種が開始された諸外国では高い有効性が示され、イスラエルからの報告では、感染予防効果は11.3倍、重症化予防効果は19.5倍となったと報告しています。最も気になるのは副反応ですが、これまでの報告されている限りでは、「2回目接種と同程度かそれより軽い」とされています。

季節性インフルエンザと同様に、毎年のように接種が必要なものになるかは、これからの知見を待たなければなりません。前回の接種で大きな副反応がなかった方には、3回目の接種を受けていただくことをお勧めします。

そして、感染対策も引き続き重要です。とくに冬本番で、室内の換気を怠りがちになります。密閉空間では感染が拡大しやすいですので、こまめな換気を忘れずをお願いします。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)



広報はぼろ 令和3年12月号 No.702 発行 羽幌町 078-4198 北海道苫前郡羽幌町南町1番地1 編集 地域振興課
電話 0164(68)7013 FAX 0164(62)1219 メール c-kouhou@town.haboro.lg.jp ホームページ www.town.haboro.lg.jp